

2017 年 期シラバス

< 監査教科 >

科目名	監査制度総論								
分類コード	監査 101	学年	J1	時期	前期	必修	●	単位	3
講義形態	e ラーニング								
指導目的	<p>① 制度として定められている監査の概要を理解する。</p> <p>② 法的な裏付けをもって発展してきた日本における監査の発展の歴史を学ぶ。</p> <p>③ 金融商品取引法における公認会計士監査の意義と果たすべき役割を理解する。</p> <p>④ 会社法における会計監査人の果たすべき役割を理解する。</p>								

科目名	監査全般にわたる基本的事項と責任								
分類コード	監査 201	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	e ラーニング								
指導目的	<p>① 監査及び監査の品質管理の基準及び実務指針の体系を理解する。</p> <p>② 監査手続全般にわたる基本的事項を理解する。</p> <p>③ 監査手続全般にわたる監査人の責任について理解する。</p> <p>④ 特殊な監査業務に関する実務上の指針を理解する。</p>								

科目名	財務諸表監査における不正								
分類コード	監査 202	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 不正の定義・特徴を理解する。</p> <p>② 不正に対する監査チーム内での討議について理解する。</p> <p>③ 不正に対するリスク評価手続について理解する。</p> <p>④ 不正に対するリスク対応手続について理解する。</p> <p>⑤ 不正の監査証拠の評価について理解する。</p>								

科目名	リスク評価及び評価したリスクへの対応【その1】【その2】								
分類コード	監査 203	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 監査の中で最も重要な「監査計画」の根幹となるリスク・アプローチの考え方と実務上の適用方法を理解する。</p> <p>② 監査計画の流れと、計画策定時に行うべき重要な手続について理解する。</p>								

科目名	監査証拠及び他者の作業の利用								
分類コード	監査 204	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	eラーニング								
指導目的	<p>① 監査証拠の構成内容及び監査手続を立案実施することに関する実務上の指針を理解する。</p> <p>② グループ監査に関する実務上の指針を理解する。</p> <p>③ 内部監査及び専門家の業務を利用する場合の実務上の指針を理解する。</p>								

科目名	監査の結論及び報告【通常講義(ライブ)】【ゼミナール】								
分類コード	監査 205	学年	J2	時期	前期	必修	—	単位	各3
講義形態	通常講義(ライブ)・ゼミナール								
指導目的	<p>① 監査人が監査報告書を作成するに当たり、意見を表明するに至る過程を理解する。</p> <p>② 監査報告書の作成及びその他外部提出書類の作成並びに監査業務の最終段階での評価について理解する。</p> <p>③ 監査意見の審査の仕組みと手続き及びその意義を理解する。</p> <p>④ 継続企業の前提に関する監査手続及び監査意見についての影響を理解する。</p>								

科目名	四半期レビュー								
分類コード	監査 206	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・東海・近畿：eラーニング / 九州：通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 四半期会計基準及び適用指針（以下、「四半期会計基準等」）における会計処理を理解する。</p> <p>② 四半期レビューの目的を理解する。</p> <p>③ 四半期レビューの基準及び実務指針の特徴を理解する。</p> <p>④ 四半期レビューのスケジュールを理解する。</p>								

科目名	財務報告に係る内部統制の監査								
分類コード	監査 207	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・近畿：eラーニング / 東海・九州：通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 内部統制報告制度の趣旨を理解する。</p> <p>② 内部統制報告制度の全体像を理解する。</p> <p>③ 内部統制報告制度における監査人の役割を理解する。</p>								

科目名	現預金・借入金 【その1】【その2】								
分類コード	監査 301	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
<p>① 現金・預金の収納、支出、保管等に関する業務フロー並びにリスク評価について理解する。</p> <p>② 現金・預金に係る会計処理について理解するとともに、実証手続の策定及び実施方法について理解する。</p> <p>③ 資金調達の方法と、会計処理について理解する。</p> <p>④ 資金調達等取引に関するリスク評価方法について理解する。</p> <p>⑤ 借入金、社債及び支払利息等の実証手続の策定及びその実施を可能にする。</p>									

科目名	販売 【その1】【その2】【ゼミナール】								
分類コード	監査 302	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)・ゼミナール※【ゼミナール】は東京のみ実施								
指導目的									
<p>① 売上取引に関する実務をアサーションに関連付けて把握し、その会計処理（収益計上基準）を理解する。</p> <p>② 受注から回収までの業務の流れを理解する。</p> <p>③ 債権管理（回収可能性）について理解する。</p> <p>④ 貸倒引当金の会計処理について理解する。</p> <p>⑤ 売上取引に関するリスク評価手続について理解する。</p> <p style="padding-left: 20px;">A. 売上取引に関する企業の内部統制を理解する。</p> <p style="padding-left: 20px;">B. 売上取引に関する重要な虚偽表示リスクの評価について理解する。</p> <p>⑥ 売上取引に関するリスク対応手続について理解する。</p> <p style="padding-left: 20px;">A. 売上取引に関する内部統制の運用評価手続について理解する。</p> <p style="padding-left: 20px;">B. 売上取引及び関連する勘定残高に関する実証手続について理解する。</p>									

科目名	購買・棚卸資産・原価計算【その1】【その2】								
分類コード	監査 303	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
<p>① 購買プロセス及び棚卸資産プロセスに関する実務の概要について理解する。</p> <p>② 購買プロセス及び棚卸資産プロセスに関するリスク評価手続について理解する。</p> <p>A. 購買プロセス及び棚卸資産プロセスに関する企業の内部統制について理解する。</p> <p>B. 購買プロセス及び棚卸資産プロセスに関する重要な虚偽表示リスクの評価について理解する。</p> <p>③ 購買プロセス及び棚卸資産プロセスに関するリスク対応手続について理解する。</p> <p>A. 購買プロセス及び棚卸資産プロセスに関する運用評価手続について理解する。</p> <p>B. 購買プロセス及び棚卸資産プロセスに関連する勘定残高の実証手続について理解する。</p>									

科目名	固定資産【その1】【その2】【ゼミナール】【その3】								
分類コード	監査 304	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)・ゼミナール ※【その3】は東海のみ実施								
指導目的									
<p>① 企業の設備投資計画、取得から廃棄までの実務の流れを理解する。</p> <p>② 固定資産プロセスに係るリスク評価手続を理解する。</p> <p>③ 固定資産に係るリスク評価手続の結果から、アサーションごとの重要な虚偽表示リスクに対する有効なリスク対応手続の策定及びその実施について理解する。</p> <p>④ 固定資産に係る監査上の留意点について、ケーススタディを通して、実務対応能力を身につける。</p> <p>⑤ 減損会計、リース会計、研究開発費、ソフトウェア、資産除去債務の会計処理の概要を復習する。</p>									

科目名	金融商品【その1】【その2】(有価証券等取引・外貨建取引)								
分類コード	監査 305	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	各 3
講義形態	【その1】【その2】								
指導目的									
<p>① 財務プロセスの監査に必要な会計処理を理解する。</p> <p>② 財務プロセス(特に有価証券等)に係る統制リスクの評価を理解する。</p> <p>③ 財務プロセス(特に有価証券取引及び関連損益)の実証手続の作成及びその実施を理解する。</p> <p>④ 外貨建取引の会計処理について理解する。</p>									

科目名	金融商品【その3】デリバティブ・オフバランス取引等								
分類コード	監査 305	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	各 3
講義形態	【その3】東京・東海・近畿：eラーニング/九州：通常講義(ライブ)								
指導目的									
<p>① 各種のデリバティブ取引を理解する。</p> <p>② デリバティブ取引に関する会計処理、表示を理解する。</p> <p>③ ヘッジ会計について理解する。</p> <p>④ デリバティブ取引に関するリスクの評価について理解する。</p> <p>⑤ デリバティブ取引に関するリスクの評価結果から、デリバティブ取引に関するリスク対応手続の策定及びその実施について理解する。</p> <p>⑥ 各種のオフバランス取引（債務保証、債券の流動化等）を理解する。</p> <p>⑦ オフバランス取引に対する会計処理、表示を理解する。</p> <p>⑧ オフバランス取引の監査上の留意事項を理解する。</p>									

科目名	人件費【その1】【その2】								
分類コード	監査 306	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
<p>① 人件費の内容及び会計処理について理解する。</p> <p>② 人件費プロセスに関する内部統制と統制リスクの評価を理解する。</p> <p>③ 人件費に関する実証手続を理解する。</p> <p>④ 賞与引当金・退職給付引当金・役員退職慰労引当金等、人件費関連引当金の実証手続を理解する。</p> <p>⑤ 退職給付会計の会計処理と開示及び監査上の取扱いを理解する。</p> <p>⑥ スtock・オプションなど報酬の最近のトレンドについて理解する。</p>									

科目名	税金・税効果会計【その1】【その2】								
分類コード	監査 307	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
<p>① 税金計算に関する実務について理解する。</p> <p>② 税効果会計の意義、目的を理解する。</p> <p>③ 税効果会計の会計処理、実務上の留意点を理解する。</p> <p>④ 税金項目に関するリスク評価手続について理解する。</p> <p>⑤ 税金項目及び税効果会計に関するリスク対応手続について理解する。</p>									

科目名	純資産の部・包括利益・過年度遡及								
分類コード	監査 308	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	e ラーニング								
指導目的	<p>① 純資産の部に関する実務上の留意点を把握する。</p> <p>② 包括利益に関する実務上の留意点を理解する。</p> <p>③ 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する実務上の留意点を理解する。</p>								

科目名	連結財務諸表(範囲・会計処理・税効果)及び組織再編【その1】【その2】								
分類コード	監査 309	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	各3
講義形態	東京・近畿・九州：e ラーニング / 東海：通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 連結財務諸表に関する実務を理解する。</p> <p>② 連結財務諸表に関する監査上の留意事項を理解する。</p> <p>③ 組織再編に関する実務を理解する。</p> <p>④ 組織再編に関する監査上の留意事項を理解する。</p>								

科目名	セグメント情報・関連当事者								
分類コード	監査 310	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・近畿：e ラーニング / 東海・九州：通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① セグメント情報等の概要及び監査上の留意事項を理解する。</p> <p>② 関連当事者に関する開示及び監査上の留意事項を理解する。</p>								

科目名	実査・立会・確認								
分類コード	監査 320	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 資産の実在性を確かめる監査手続をマスターする。</p> <p>② 各々の手続を知る。</p> <p>③ 各々の手続の補完手続を知る。</p>								

科目名	国際監査基準								
分類コード	監査 401	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	2
講義形態	eラーニング								
指導目的									
① 国際監査基準（I S A）設定の背景を理解する。 ② 国際監査基準の役割を理解する。 ③ 国際監査基準の最近の議論の動向を理解する。									

科目名	株式上場監査 【その1】【その2】								
分類コード	監査 501	学年	J2	時期	後期	必修	—	単位	各3
講義形態	東京・東海：eラーニング / 近畿・九州：通常講義(ライブ)								
指導目的									
① 株式上場の現状とそれにかかわる株式上場実務及び監査の概要を理解する。									

科目名	保証業務								
分類コード	監査 502	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	2
講義形態	eラーニング								
指導目的									
① 保証業務の概念的枠組みを理解する。 ② 公認会計士が行う保証業務の内容を理解する。 ③ 保証業務と監査人の独立性との関係を理解する。									

科目名	金融機関の会計と監査								
分類コード	監査 503	学年	J2	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・東海・九州：eラーニング / 近畿：通常講義(ライブ)								
指導目的									
① 金融機関固有の会計処理等について理解する。 ② 金融機関監査の基準等について理解する。 ③ 財務諸表等規則における別記事業を理解する。 ④ 会社法施行規則（会社計算規則）の適用除外事業を理解する。									

科目名	学校法人会計と監査								
分類コード	監査 504	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・東海・近畿：eラーニング / 九州：通常講義(ライブ)								
指導目的									
① 学校法人会計及び監査の概要を理解する。 ② 学校法人会計の計算構造を理解する。 ③ 学校法人会計の基本金を理解する。 ④ 学校法人会計基準の改正内容について理解する。									

科目名	非営利法人会計と監査								
分類コード	監査 505	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・東海・近畿：eラーニング / 九州：通常講義(ライブ)								
指導目的									
① 公益法人の種類とその内容について理解する。 ② 公益法人会計の概要を理解する。 ③ 公益法人監査及びその現状を理解する。 ④ 社会福祉法人及び医療法人に対する会計監査制度の概要を理解する。									

科目名	地方自治体の会計と監査								
分類コード	監査 506	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	2
講義形態	eラーニング								
指導目的									
① 地方自治体の会計制度及び監査制度の概要を理解する。 ② 地方自治体と公認会計士との係わりを理解する。									

科目名	独立行政法人会計と監査								
分類コード	監査 507	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	2
講義形態	eラーニング								
指導目的									
① 独立行政法人の種類とその内容について理解する。 ② 独立行政法人会計の概要を理解する。 ③ 独立行政法人監査及びその現状を理解する。									

<会計教科>

科目名	決算実務と開示【その1】【その2】【その3】※必修は【その1】のみ								
分類コード	会計 104	学年	J1	時期	前期	必修	●	単位	3
講義形態	東京：eラーニング / 東海・近畿・九州：通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 決算実務を理解する。</p> <p>② 金融商品取引法及び会社法に基づく企業内容開示制度の意義、体系を理解する。</p> <p>③ 取引所のルールにおける開示を理解する。</p> <p>④ インベスターリレーションズ (IR) を理解する。</p> <p>⑤ 予算と中期経営計画の策定方法、業績予想等の開示について理解する。</p>								

科目名	連結財務諸表作成実務【その1】～【その4】【フォローアップ講義】								
分類コード	会計 201	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	各3
講義形態	宿泊研修 / (【フォローアップ講義】は東海のみ実施)								
指導目的	<p>① 連結財務諸表の体系及び作成過程を理解する。</p> <p>② 連結財務諸表に係る公認会計士の役割を理解する。</p>								

科目名	持分法会計／キャッシュ・フロー計算書								
分類コード	会計 210	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ) / (東海のみ実施)								
指導目的	<p><持分法></p> <p>① 持分法の意義を理解する。</p> <p>② 持分法適用にあたっての会計処理を理解する。</p> <p>③ 「持分法会計に関する実務指針」に沿った作成実務の基本を理解する。</p> <p><キャッシュ・フロー計算書></p> <p>① キャッシュ・フロー計算書の体系を理解する。</p> <p>② キャッシュ・フロー計算書の作成方法を理解する。</p>								

科目名	連結財務諸表規則								
分類コード	会計 211	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ) / (東海のみ実施)								
指導目的	<p>① 連結財務諸表規則を理解し、その内容の概要を把握する。</p>								

科目名	会社の設立実務、業務と組織・諸規程								
分類コード	会計 301	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・東海・近畿：eラーニング / 九州：通常講義(ライブ)								
指導目的									
<p>① 株式会社設立の流れと手続を理解する。</p> <p>② 株式会社設立と公認会計士業務との関連を理解する。</p> <p>③ 会社の組織と各組織における業務の流れを理解し経営上必要とされる会社内の諸制度、諸規程について理解する。</p> <p>④ 監査業務を遂行する上で、必要となる会社の組織及び業務の流れに関する検討事項を理解する。</p>									

科目名	貿易実務								
分類コード	会計 303	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	2
講義形態	eラーニング								
指導目的									
<p>① 貿易取引が実務でどのように行われているかを把握し、貿易取引に係る内部統制及び会計処理を理解する。</p>									

科目名	国際財務報告基準(各論)【その1】～【その6】								
分類コード	会計 402	学年	J2	時期	後期	必修	—	単位	各2
講義形態	eラーニング								
指導目的									
<p>① IFRS の主要な個別基準の概要及び日本基準と IFRS の重要な基準差異に関する知識を習得する。</p> <p>② IFRS を適用する際の実務上の留意点を習得する。</p>									

科目名	IFRS の概要及びフレームワークに基づく会計処理の基礎(非金融資産)								
分類コード	会計 410	学年	J1	時期	前期	必修	●	単位	3
講義形態	eラーニング								
指導目的									
<p>① 国際財務報告基準(IFRS)設定の歴史的背景、企業活動の国際化の動向を理解する。</p> <p>② 国際会計基準委員会(IASC)の沿革及び国際会計基準審議会(IASB)の組織及び我が国の役割、貢献を理解する。</p> <p>③ IFRS の適用状況について、国際的及び我が国における最新動向を理解する。</p> <p>④ IFRS の概要を理解する。</p> <p>⑤ IFRS の概念フレームワークを理解する。</p> <p>⑥ 概念フレームワークに基づく IFRS の会計処理の考え方を有形固定資産の会計処理を例に理解する。</p>									

科目名	IFRS 概念フレームワークに基づく会計処理【eラーニング】【ゼミナール】								
分類コード	会計 411	学年	J3	時期	前期	必修	—	単位	各 3
講義形態	eラーニング・ゼミナール								
指導目的	<p>① IFRS の概念フレームワークに基づく会計処理の考え方を学ぶ。</p> <p>② グループディスカッションによって理解を深める。</p>								

科目名	英文財務諸表								
分類コード	会計 601	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・東海・近畿：eラーニング / 九州：通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 英文財務諸表の体系を理解する。</p> <p>② 英文財務諸表の作成実務の基本的概要を理解する。</p>								

科目名	企業再編の実務								
分類コード	会計 602	学年	J2	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・東海：eラーニング / 近畿・九州：通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 公認会計士の関与する可能性のある企業再編業務について理解する。</p> <p>② 企業結合会計の基本を理解する。</p> <p>③ 事業分離等会計の基本を理解する。</p> <p>④ 合併の会計・法律の基本を理解する。</p> <p>⑤ 分割の会計・法律の基本を理解する。</p> <p>⑥ 株式交換・株式移転の会計・法律・税務の基本を理解する。</p> <p>⑦ 各企業組織再編の税務の基礎を理解する。</p>								

科目名	倒産の実務(更生・民事再生・破産・特別清算)【その1】【その2】								
分類コード	会計 603	学年	J3	時期	後期	必修	—	単位	各 2
講義形態	eラーニング								
指導目的	<p>① 倒産手続の概略、各種手続の特徴及び相違点を理解する。</p> <p>② 各種手続の流れの概要を理解する。</p> <p>③ 特別法である倒産法の概略及び特有の取扱いを理解する。</p> <p>④ 各種手続と公認会計士との関わりを理解する。</p>								

<税務教科>

科目名	税法総論								
分類コード	税務 101	学年	J1	時期	前期	必修	●	単位	3
講義形態	eラーニング								
指導目的	<p>① 租税法の意義、基本原則、役割、種類等を理解する。</p> <p>② 税法の種類とその概要を理解する。</p> <p>③ 税法の構造と適用を理解する。</p>								

科目名	租税制度総論								
分類コード	税務 102	学年	J1	時期	前期	必修	●	単位	3
講義形態	eラーニング								
指導目的	<p>① 租税制度と税理士資格登録している公認会計士が行う税務業務の概要を理解する。</p>								

科目名	法人税法総論								
分類コード	税務 201	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・近畿：eラーニング / 東海・九州：通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 法人税法の概要を理解する。</p> <p>② 企業の利益と法人税の課税所得との関係を理解する。</p>								

科目名	法人税法(総合演習)【その1】【その2】								
分類コード	税務 209	学年	J2	時期	後期	必修	—	単位	各3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 法人税の申告及び納付に関する諸規定を理解する。</p> <p>② 別表一(一)、別表四、別表五(一)、別表五(二)、別表六(一)の算定過程を理解する。</p> <p>③ 法人税等の税金算定過程を理解し、税金の未納税額を計算する。</p>								

科目名	法人税法(組織再編税制)【その1】【その2】								
分類コード	税務 210	学年	J2	時期	後期	必修	—	単位	各3
講義形態	東京・近畿：eラーニング / 東海・九州：通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 組織再編取引(合併、分割、現物出資、現物分配、株式交換、株式移転)を行った場合の法人税上の取扱いの概要について理解する。</p>								

科目名	法人税法(連結納税)【その1】【その2】								
分類コード	税務 211	学年	J3	時期	後期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	① 日本の連結納税制度の概要について理解する。								

科目名	法人税法(各論)【その1】【その2】【その3】								
分類コード	税務 212	学年	J2	時期	後期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	科目内容編成中								

科目名	所得税法概論【その1】【その2】								
分類コード	税務 301	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	① 所得税法の基本的内容を理解する。								

科目名	相続税法概論								
分類コード	税務 401	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	① 相続に関する民法の基礎知識を修得する。 ② 相続税及び贈与税の基本的内容を理解する。								

科目名	消費税法概論【その1】【その2】								
分類コード	税務 501	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	① 消費税に関する実務の概要を理解する。 ② 消費税の性格を理解する。 ③ 消費税の仕組みを理解する。 ④ 消費税の会計処理と表示方法を理解する。 ⑤ 法人税法上の消費税の取扱いを理解する。 ⑥ 消費税申告書の作成について作成実習を行う。								

科目名	資産税概論(譲渡所得及び財産評価)【その1】【その2】								
分類コード	税務 502	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
① 譲渡所得に関する実務の概要を理解する。									
② 税法上の財産評価方法の概要を理解する。									

科目名	地方税法概論								
分類コード	税務 503	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・近畿・九州：eラーニング / 東海：通常講義(ライブ)								
指導目的									
① 地方税の種類及び各概要を理解する。									

科目名	国際税制 【その1】【その2】								
分類コード	税務 601	学年	J2	時期	後期	必修	—	単位	各 3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
① 国際税務の基礎を理解する。									
② 非居住者の課税制度を理解する。									
③ 外国法人の課税制度を理解する。									
④ 租税条約を理解する。									
⑤ 外国子会社配当等益金不算入制度を理解する。									
⑥ 外国税額控除制度を理解する。									
⑦ タックスヘイブン対策税制（外国子会社合算税制）を理解する。									
⑧ 移転価格税制を理解する。									
⑨ 過少資本税制を理解する。									
⑩ 過大支払利子税制を理解する。									

<経営教科>

科目名	経営管理総論								
分類コード	経営 101	学年	J1	時期	前期	必修	●	単位	3
講義形態	eラーニング								
指導目的	<p>① 経営管理の基礎を理解する。</p> <p>② 経営理念、事業ドメイン、ビジョン、重要成功要因、経営戦略、経営計画、実行、統制、改善のプロセス概要を理解する。</p> <p>③ 経営管理の本質と変化を理解する。</p> <p>④ 経営管理は人の意識が基本であることを理解する。</p> <p>⑤ 上記に係る公認会計士の役割を理解する。</p>								

科目名	ビジネスゲーム【その1】～【その4】【事前講義】								
分類コード	経営 102	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	各3
講義形態	宿泊研修 / ※【事前講義】は近畿のみ実施								
指導目的	<p>① 企業経営における意思決定を疑似体験し、各種経営指標の活用、財務諸表の読み方を理解する。</p>								

科目名	経営管理と内部統制 【eラーニング】【ゼミナール】								
分類コード	経営 103	学年	J2	時期	前期	必修	—	単位	各3
講義形態	東京・近畿：eラーニング/東海・九州：通常講義(ライブ)/ゼミナール								
指導目的	<p>① 経営管理におけるリスクマネジメントの必要性と考え方を理解する。</p> <p>② 法令遵守の重要性及び企業に関する代表的な法規制について理解する。</p> <p>③ 企業リスクに対応するために求められるガバナンスと内部統制のあり方を理解する。</p>								

科目名	コーポレートガバナンス								
分類コード	経営 104	学年	J3	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① コーポレートガバナンスの基本を理解し、企業のガバナンスのあり方について考える。</p> <p>② コーポレートガバナンスにおける公認会計士の役割を理解する。</p>								

科目名	経営分析総論【eラーニング】【ゼミナール】※必修は【その1】のみ								
分類コード	経営 201	学年	J1	時期	※	必修	●	単位	各 3
講義形態	東京・近畿・九州：eラーニング / 東海：通常講義(ライブ) ※前期 ゼミナールは東京のみ実施 ※後期								
指導目的									
<p>① 経営分析の定義及び目的を理解する。</p> <p>② 経営分析における比率分析のもつ意味合いを理解する。</p> <p>③ 経営分析指標の計算ができる。</p> <p>④ 経営分析指標の定義・目的・留意点等が説明できる。</p>									

科目名	財務情報分析(事例分析)								
分類コード	経営 202	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
① 経営分析総論(経営 201)で学習した事項を踏まえて、総合的に企業の財務分析の方法を理解する。									

科目名	財務情報分析(監査等における利用)								
分類コード	経営 203	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
① 監査等における分析的手続の意義を理解し、監査実施過程における各段階の分析的手続を理解する。									

科目名	管理会計の実務								
分類コード	経営 204	学年	J3	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	eラーニング								
指導目的									
① 教科書などからは学べない「実務に根ざした管理会計」を学習する。									

科目名	デュー・ディリジェンス								
分類コード	経営 301	学年	J3	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
以下のポイントを理解することで、財務デュー・ディリジェンス業務が補習生にとっての将来のキャリアパス検討時の参考となり得る知識を習得させることを目的とする。									
① M&A が実務上、どのようなプロセスで実行されるかを理解する。									
② M&A に係わる公認会計士の役割を理解する。									
③ M&A におけるデュー・ディリジェンス（買収前調査）の概要を理解する。									
④ M&A における財務デュー・ディリジェンスと会計監査の相違を理解する。									
⑤ 財務デュー・ディリジェンスの調査ポイント、実施手続、報告を理解し、財務デュー・ディリジェンス業務を理解する。									

科目名	企業価値評価								
分類コード	経営 302	学年	J3	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
① 株式等鑑定評価の従来の実務の流れを理解する。									
② 企業価値評価の考え方を理解する。									
③ 企業価値評価の手順の概要を理解する。									

科目名	I Tの基礎知識								
分類コード	経営 401	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
① I Tに関する重要性及びI T教育の全体像を示す。									
② 公認会計士と情報システム（コンピュータシステム）の関わり方を協会の実務指針、研究報告等を通じて鳥瞰する。									
③ 公認会計士に必要とされるI T基礎知識として、I Tアーキテクチャ及びシステム取得・開発に関する用語・概念や関連基準・関連資格などに何があるかを示す。									

科目名	企業におけるIT環境とITに関する保証業務								
分類コード	経営 402	学年	J2	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・近畿：eラーニング / 東海・九州：通常講義(ライブ)								
指導目的									
<p>① IT戦略、ITを利用した商取引、ITを活用した管理・監査、ITに関する法務に関する基礎知識を理解する。</p> <p>② IT部門の機能、外部リソースの利用についての基礎知識を理解する。</p> <p>③ 財務報告に関連する情報システムの類型、データの分類、財務報告におけるITの役割、情報システムの構造について理解する。</p> <p>④ ITに関する保証業務（公認会計士の業務である、Trust サービス等を含む）の概要を理解する。</p>									

科目名	ITのリスク評価の概論								
分類コード	経営 403	学年	J1	時期	前期	必修	●	単位	3
講義形態	東京・近畿・九州：eラーニング / 東海：通常講義(ライブ)								
指導目的									
<p>① 会計監査の一環として実施されるIT委員会実務指針第6号「ITを利用した情報システムに関する重要な虚偽表示リスクの識別と評価及び評価したリスクに対応する監査人の手続について」を理解する。</p> <p>② 情報システムに関する統制リスクの評価を実施する上の基礎知識及び留意事項を理解する。</p> <p>③ 情報システムに関する財務諸表監査と内部統制との間の関係を理解する。</p>									

科目名	業務処理統制								
分類コード	経営 404	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
<p>① 財務報告目的に関連する、アプリケーションの業務処理統制に関して、業務処理統制の特徴及びその理解における留意事項について理解する。</p> <p>② 上記業務処理統制についてリスク評価及びリスク対応手続における留意事項について理解する。</p> <p>③ コンピュータ利用監査技法(CAAT)に関して理解する。</p>									

科目名	全般統制								
分類コード	経営 405	学年	J2	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・近畿：eラーニング / 東海・九州：通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 全般統制に関する五つの内部統制についてそのリスク評価及びリスク対応手続を理解する。</p> <p>② 全般統制の結果が与える影響について理解する。</p>								

科目名	業務処理統制及び全般統制の実務演習								
分類コード	経営 406	学年	J2	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 業務処理統制及び全般統制に関する演習を実施し、その理解を深める。</p> <p>② 経営 404 で学習した事項を踏まえて、業務プロセスの理解、リスク評価とリスク対応手続の立案ができるようにする。</p> <p>③ 経営 405 で学習した事項を踏まえて、全般統制の理解、リスク評価とリスク対応手続ができるようにする。</p> <p>④ 業務処理統制と全般統制の関連を理解し監査上の対応ができるようにする。</p> <p>⑤ 全般統制に不備がある場合の影響と監査上の対応ができるようにする。</p>								

<法規・職業倫理・その他教科>

科目名	金融商品取引法及び証券取引等監視委員会の活動状況等								
分類コード	法規 101	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 金融商品取引法の目的と体系を、公認会計士の職責と関連付けて理解する。</p> <p>② 証券取引等監視委員会の機能と活動状況を理解する。</p>								

科目名	公認会計士法								
分類コード	法規 201	学年	J1	時期	前期	必修	●	単位	3
講義形態	e ラーニング								
指導目的	<p>① 公認会計士法の体系を理解する。</p> <p>② 公認会計士制度を理解する。</p> <p>③ 公認会計士及び試験合格者の職能とその業務を理解する。</p> <p>④ 公認会計士及び試験合格者の義務と責任を理解する。</p> <p>⑤ 監査法人制度を理解する。</p>								

科目名	職業倫理								
分類コード	法規 301	学年	J1	時期	前期	必修	●	単位	3
講義形態	e ラーニング								
指導目的	<p>① 公認会計士の職業倫理を制度的な側面から学ぶ。</p> <p>② 職業倫理の規範体系及びその内容を理解する</p> <p>③ 実務の現場で生じ得る職業倫理上の諸問題を理解する</p>								

科目名	職業倫理(精神的独立性)								
分類コード	法規 302	学年	J1	時期	前期	必修	●	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>公認会計士の職業倫理を精神的な側面から学ぶ。</p> <p>① 実務では法令や基準だけでは判断できないことが多数あることを理解する。</p> <p>② 監査業務は、精神的独立性を保つことが難しい環境下で行われる場合があることを理解する。</p> <p>③ 精神的独立性を保つための不断の努力が必要であることを理解する。</p> <p>④ 「精神的独立性」、「校正・誠実に業務を行うこと」は各人の心の問題であり、常に各自が相当の意識を持って築いていくしかないことを理解する。</p>								

科目名	公認会計士の品位及び識見								
分類コード	法規 303	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的									
① 職業専門家として、「品位及び識見」が求められていることを理解する。 ② 職業専門家としての「品位及び識見」は何かを理解する。 ③ 職業専門家としての「品位及び識見」をいかに身につけ、保持し続けるかを理解する。									

科目名	監査事例研究 【ゼミナール】								
分類コード	法規 401	学年	J3	時期	前期	必修	●	単位	各 3
講義形態	ゼミナール								
指導目的									
① 綱紀案件に基づき、不適切とされた監査の事例とこれに関与した監査人に対する懲戒処分について理解する。 ② 金融庁による懲戒処分について理解する。 ③ 日本公認会計士協会による懲戒処分について理解する。 ④ 綱紀案件を通して監査業務を適切に行うことの重要性を理解する。 ⑤ 最新の監査提言集に掲載されている不正事例に基づき、監査人としての職業的懐疑心を常に保持することの重要性を理解する。									

科目名	商業登記・不動産登記								
分類コード	法規 402	学年	J2	時期	後期	後修	—	単位	2
講義形態	eラーニング								
指導目的									
① 商業登記と不動産登記の基本的な仕組みを理解する。 ② 登記事項証明書の記載内容について理解する。 ③ 主な登記の申請手続とその必要書類について理解する。									

科目名	民法								
分類コード	法規 403	学年	J2	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	eラーニング								
指導目的									
① 私法の基本法である民法を通じて、法律の基礎的事項を理解する。 ② 公認会計士の業務上必要な民法の知識を理解する。									

科目名	不動産評価の方法								
分類コード	法規 404	学年	J2	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	東京・東海・九州：eラーニング / 近畿：通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 鑑定評価書(価格調査書を含む)に記載されている事項を理解する。</p> <p>② 不動産の基本的な類型を理解する。</p> <p>③ 不動産評価手法の基礎を理解する。</p> <p>④ 公認会計士の業務上必要な不動産評価の知識を理解する。</p>								

科目名	ビジネススキル								
分類コード	法規 405	学年	J3	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	<p>① 職業専門家として仕事を行っていく実務補習生に対し、今後のビジネス上で参考となる仕事術について指導する。</p>								

科目名	統計的サンプリング【その1】【その2】								
分類コード	法規 406	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	各2
講義形態	eラーニング								
指導目的	<p>① 監査における統計的サンプリングについて理解を深める。</p> <p>② サンプリングリスクを認識できるようにする。</p> <p>③ 統計的評価に係る用語について理解する。</p> <p>④ 統計的評価の手法である「仮説検定」を理解する。</p> <p>⑤ サンプリングリスクをツールを利用して評価できるようにする。</p> <p>⑥ 監査の現場でサンプリングリスクを意識したサンプリングができるようにする。</p>								

科目名	ファイナンスの基礎								
分類コード	法規 407	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	eラーニング								
指導目的	<p>① ファイナンス理論の基礎を学習することで、企業の財務意思決定(投資決定、資金調達、ペイオフ政策等)の仕組みを理解する。</p> <p>② 公認会計士の業務において必要な知識(公正価値の捉え方、デリバティブ資産の算定等)の習得を目指す。</p>								

科目名	経済学(マクロ経済学)								
分類コード	法規 408	学年	J1	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	e ラーニング								
指導目的	<p>① 日常的に新聞やテレビのニュースで報じられている経済成長や景気循環など、日本経済を取り巻く問題をどのように考えたらいいかを理解する。</p> <p>② マクロ経済学の基礎を学ぶことで、その考え方やメカニズムについて理解する。</p>								

科目名	ディスカッション【その1】～【その6】								
分類コード	法規 501	学年	J1	時期	通期	必修	—	単位	各3
講義形態	<p>ディスカッション</p> <p>【その1】～【その3】は全補習所で実施</p> <p>【その4】～【その5】は東海・近畿・九州で実施</p> <p>【その6】は東海のみ実施</p>								
指導目的	<p>① 講義に関連した内容について更に理解を深める。</p> <p>② 実務上有効な主張・説得のテクニックを習得する。</p>								

<特別講義>

科目名	協会動向								
分類コード	特別 101	学年	J1	時期	前期	必修	●	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	① 日本公認会計士協会の直近の活動内容等を理解する。 ② 公認会計士に寄せられる社会の期待について理解する。								

科目名	所長講話								
分類コード	特別 102	学年	J1	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	① 実務補習履修に当たって注意すべき事項を理解する。 ② 職業会計人として活躍していく上で指針となる講義とする。								

科目名	株式の上場制度トピックス								
分類コード	特別 103	学年	J2	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	① 株式の上場制度に関連する直近のトピックスを理解する。								

科目名	会計・監査トピックス								
分類コード	特別 104	学年	J3	時期	前期	必修	—	単位	3
講義形態	通常講義(ライブ)								
指導目的	① 会計に関連する最近のトピックスを理解する。 ② 監査に関連する最近のトピックスを理解する。								

科目名	企業のガバナンスと監査役								
分類コード	特別 105	学年	J2	時期	後期	必修	—	単位	3
講義形態	eラーニング								
指導目的	① 企業会計監査の対象となる企業におけるガバナンス(企業統治)の概念を理解する。 ② 企業会計監査において連携を求められている監査役等の機能等を理解する。								